

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月7日 (2010.1.7)

【公開番号】特開2008-122845(P2008-122845A)

【公開日】平成20年5月29日 (2008.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2008-021

【出願番号】特願2006-309101(P2006-309101)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

H 0 5 K 3/28 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/029 (2006.01)

G 0 3 F 7/031 (2006.01)

H 0 5 K 3/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/20 5 0 1

H 0 5 K 3/28 D

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/029

G 0 3 F 7/031

H 0 5 K 3/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月16日 (2009.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソルダーレジスト層にフォトリソマスクを介して所望パターンを露光しレジストパターンを形成するレジストパターン形成方法において、露光光を発生する光源とフォトリソマスクとの間に、370nm以下の光を50%以上カットし且つ400nm以上の光を80%以上透過するフィルムを介在させ、光源から発生する露光光を前記フィルム及びフォトリソマスクを介してソルダーレジスト層に照射することを特徴とするソルダーレジストパターンの形成方法。

【請求項 2】

前記フィルムが熱可塑性フィルムであり、紫外線吸収剤を含有することを特徴とする請求項 1 に記載のソルダーレジストパターンの形成方法。

【請求項 3】

前記フィルムが、熱可塑性フィルムと該熱可塑性フィルム上にラミネートされた紫外線吸収剤含有層とから構成されることを特徴とする請求項 1 に記載のソルダーレジストパターンの形成方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のソルダーレジストパターンの形成方法において、ソルダーレジスト層に所望パターンを露光した後、未露光部分を現像してパターン形成し、加熱により熱硬化させて硬化塗膜を得ることを特徴とするソルダーレジストパターンの形成方法。

【請求項 5】

前記ソルダーレジスト層がアルカリ現像可能な感光性組成物からなり、該感光性組成物が、その乾燥塗膜の波長 405 nm における吸光度が膜厚 25 μ m あたり 0.2 ~ 1.2 であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のソルダーレジストパターンの形成方法。

【請求項 6】

請求項 4 又は 5 に記載のソルダーレジストパターンの形成方法により得られる硬化塗膜を具備するプリント配線板。